

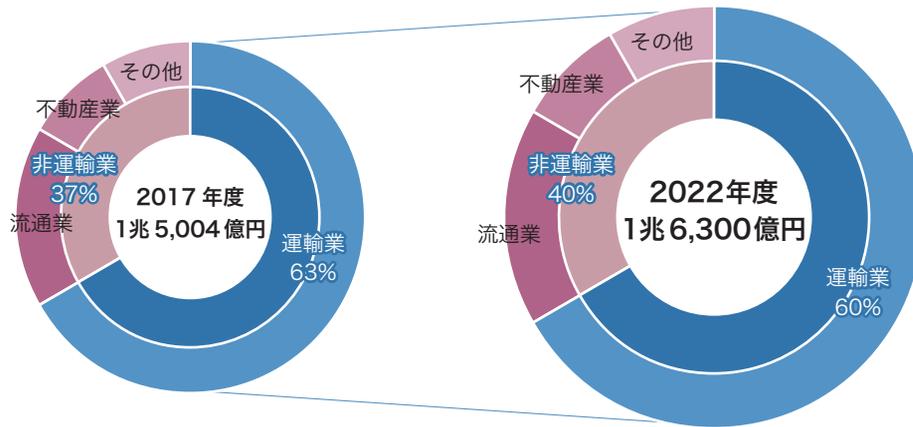
ホテル事業	
事業戦略	多様なお客様の宿泊ニーズに応え、快適な滞在をサポート。 JR 西日本エリア内外に1万1千室を超えるホテルチェーンを実現。
主な重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆宿泊特化型ホテルを中心とした出店拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイクラス宿泊特化型ホテル（ヴィスキオ）の複数出店</li> <li>・宿泊特化型ホテル（ヴィアイン）の積極展開</li> </ul> </li> <li>◆既存ホテルのリノベーションと運営力の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテルグランヴィアの大規模リノベーションの推進（京都・大阪）</li> <li>・チェーンオペレーションおよび国内外の営業体制の強化</li> </ul> </li> <li>◆新たな業態の開発・運営による多様なニーズへの対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日のお客様、観光・レジャー利用等の新たなニーズに幅広く対応できる業態の開発・運営（ハイクラス宿泊特化型ホテル、コミュニティ型カジュアルホテル、上質カプセルホテル）</li> </ul> </li> </ul>

※JR 西日本グループ中期経営計画 2022 より

ホテル事業	2018 年度実績	2022 年度目標
営業収益	488 億円	632 億円

※連結ベース（流通業「ヴィアイン」+その他「ホテル業」）

### JR 西日本グループ 連結営業収益（セグメント別）



※ホテル事業は“その他”に含まれます

ブランド	分類	部屋数実績(2017 年度)	部屋数目標(2022 年度)
グランヴィア	シティホテル	2,460 室	約 2,300 室
ヴィスキオ	ハイクラス宿泊 主体型ホテル	—	約 1,400 室
ヴィアイン	宿泊特化型ホテル	4,660 室	約 6,700 室
名称未定	コミュニティ型 カジュアルホテル	—	約 200 室
ファーストキャビン ステーション	上質カプセルホテル	129 室	約 400 室
合計		<b>7,249 室</b>	<b>約 11,000 室</b>

事業価値の向上で地域社会を活性化し、長期持続的な成長を目指します。